

## 1 題材名

『千葉常胤を父のように信頼した源頼朝』 <6年 社会科 歴史的分野>  
～漫画「千葉常胤公ものがたり」から見る「御恩と奉公」～

## 2 授業のねらい

- ①千葉市の歴史に深くかかわっている千葉常胤を、鎌倉幕府を起こした源頼朝は「父のように思う」とまで言って深く信頼していました。年齢も立場も異なる2人は、なぜこのような信頼関係で結ばれていたのかを中心的な内容として取り上げて学習します。
- ②小学生でも理解しやすいように、千葉市発行漫画「千葉常胤公ものがたり」を中心資料として、頼朝と常胤の信頼関係を通して「御恩と奉公」という個人的な関係で結びついていた将軍と武士のつながり（封建制度）を学習します。
- ③本年は市政 100 周年の記念の年です。改めて千葉常胤が鎌倉幕府の成立と深く関わっていたことを学習することによって、千葉氏と千葉市の歴史に対する理解と興味関心を深めたいと思います。

## 3 指導計画上の位置付け

- ◇6年社会科指導計画 4「武士の世の中へ」と関連します。
- ◇教科書P48「源氏と平氏が戦う」の学習後に、学ぶと効果的な1時間の学習です。

## 4 予想される授業の流れと指導資料

- ①源頼朝と千葉常胤（2人共に当館展示物）の2人の写真と「千葉常胤公ものがたり」のページ資料から2人の基本的立場や年齢を提示して、2人の関係を確認したり、写真の感想を聞いたりします。
- ②キーワード「父の様に思う」の言葉を提示して、お互いの関係について自由に意見を話し合います。
  - \* 頼朝と常胤はまるで親子のような関係か？ 信頼関係が作られるまで色々な出来事があったろうな
  - \* なぜこんな信頼関係になったのだろう？ 実際は親子ではないのにふしぎだな
- ③上記の話し合いを受けて、頼朝と常胤の信頼関係を考えるために、3枚のヒントカード1枚ずつ提示して学習することを伝え、ヒントカードごとに2人の信頼関係について資料をもとに話し合います。また、2人の気持ちの高まりを確認するため「信頼度メーター」という方法も使うことを伝えます。
  - \* ヒントカード1「知り合うきっかけ」 『保元の乱で常胤と頼朝の父親が一緒に戦う』
    - ・細かい歴史事項をではなく、2人の関係がどう深まっていくのかの視点で話し合っていく。
    - ・ヒントカードの話し合い毎に、児童の意見で信頼度メーターにシールを積み重ねていく。
  - \* ヒントカード2「第2の知り合うきっかけ」 『頼朝は常胤に助けを求めるが、さて？』
    - ・上記の関係や話し合いをもとに、常胤は頼朝を助けるかどうか話し合う。必要に応じて資料の補足
  - \* ヒントカード3「父のように思う？」 『頼朝が常胤を父の様に信頼できたのはなぜ？』
    - ・<頼朝>は、助けてもらえるか不安だった。でも真っ先に助けてくれてとてもうれしかった。
    - ・<常胤>は、真っ先に助けてほしいと求められうれしかった、でもこれから大丈夫か、不安もあるな？
- ④その後の常胤の活躍を、漫画第4章や巻末資料で確認しながら日本地図に張り付けて行って、千葉氏のワークシートで「御恩と奉公」で繋がっていた封建制度についてまとめ、発表します。

<活用する資料>

- ◎千葉市発行漫画「千葉常胤公ものがたり」 ◎当館特別展の千葉常胤関係の図録
- ◎市教委教育指導課作成「千葉氏関連の社会科指導資料」 ◎当館冊子「千葉氏入門Q&A」

## 5 指導上の留意点、その他

- ◇鎌倉幕府の成立に深くかかわっていた千葉常胤への興味関心を高めて、千葉市市政施行 100 年の年に、改めて千葉市の歴史を学習する意欲を高めていきたいと思います。
- ◇漫画「千葉常胤公ものがたり」と共に、当館で発行している千葉氏関係の資料や収蔵品や市教委作成「千葉氏関連社会科資料」を活用して、千葉氏の学習をわかりやすく学習したいと思います。